

アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2019を開催しました。

- 「平城遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞」の第4回受賞を記念して、授賞式および受賞記念フォーラムを、ERIA(東アジア・アセアン経済研究センター)との共催により開催しました。
- この賞は、2年に一度、東アジア域内における経済面・文化面での地域統合、域内の格差是正、持続可能な成長に優れた活動を行った個人・団体を国際的に評価顕彰することを目的とした国際賞です。
- また、標記フォーラムの関連プログラムとして、第4回「平城遷都1300年記念アジアコスモポリタン賞」受賞者による特別講義(教育プログラム)を奈良女子大学及び奈良県立大学で開催しました。

【アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム】

■概要

- 1 開催日時 平成31年1月10日(木)
 - ・授賞式 13:30～14:40
 - ・フォーラム 14:50～17:30
- 2 場 所 奈良春日野国際フォーラム 薨～I・RA・KA～
- 3 参加者 約410名
- 4 主な出席者
受賞者、選考委員(荒井知事、西村ERIA事務総長など)、来賓、一般応募者など
- 5 受賞者
「大賞」 福田康夫氏(元日本国総理大臣)
「経済・社会科学賞」 リチャードE.ボールドウィン氏
(ジュネーブ高等国際問題開発研究所国際経済学教授)
「文化賞」 チームラボ(アート集団)
ノグチミエコ氏(ガラスアーティスト)
「メモラブル賞」 故スリン・ピッスワン氏(元ASEAN事務総長)
- 6 内 容
 - ・基調講演
「持続可能なパートナーシップを通じてつなげるASEANとその先」 リム・ジョク・ホイASEAN事務総長
 - ・受賞記念講演及び対談
「アジアに生きる日本」 福田康夫氏【大賞受賞者】
「グローバルゼーション、ロボット、そして未来の仕事」
リチャードE.ボールドウィン氏【経済・社会科学賞受賞者】
「ミクロコスモス・マクロコスモスー心と宇宙の連結性」
チームラボ(代表猪子寿之氏)×ノグチミエコ氏【文化賞受賞者】



(授賞式における各受賞者コメント)

◆「大賞」受賞者: 福田康夫氏(元日本国内閣総理大臣)



アジアコスモポリタン賞の大賞受賞を大変光栄に存じます。

日本とアジアは切っても切れない関係であることは、戦前・戦後を通じて、また歴史的経緯からも明らかなことです。

アジアは、その安定した発展ぶりが今、世界から注目されています。同じアジアの一員として嬉しく思うと同時に、今後もアジアの発展に、ともに協力し合う関係を築いていくことは、わが日本にとっての大きな使命と思います。

東南アジアにおいては私が首相在任時、ASEAN日本政府代表部の開設とASEAN担当大使の設置を決定し、また東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)の設立を発表し、ともにジャカルタに本部を置くことになりました。これら機関の活動が、この地域の平和と繁栄のために、これからも一層の貢献を期待しています。

◆「経済・社会科学賞」受賞者: リチャードE.ボールドウィン氏(ジュネーブ高等国際問題開発研究所国際経済学教授)



アジアコスモポリタン賞の経済・社会科学賞に選出されたことを幸運に感じます。

この賞は、私にとって大変光栄なものです。直近数10年におけるアジアの急成長は、全く驚嘆すべきものであり、歴史的な出来事でもあります。数億人もの人々が貧困から脱出し、グローバルな中間層も生み出されています。

さらにより一層驚嘆すべきなのは、この経済発展がアジア各国間の平和的でますます深化した協力によって達成されたという事実です。

◆「文化賞」受賞者: 猪子寿之氏(チームラボ代表)



いつも応援していただき、本当に、感謝しております。

チームラボは、2001年の設立以来、アートコレクティブとして、デジタルテクノロジーによるアートを創っています。2018年の夏にお台場にオープンした「森ビルデジタルアートミュージアム: エプソン チームラボボーダレス」では、全ての作品が境界なく連続的につながっている1つの世界を創りました。人々は、その世界の中を意思のある身体で自ら探索していきます。

境界のなく連続的であることの美しさを創り、世界と自分との境界をなくし、人々の価値観を広げることをほんの少しでもできたらと思っています。

このような、チームラボの試みが評価され、名誉ある賞をいただけたことを、とても光栄に思っています。これからも、応援よろしくお願いいたします。

◆「文化賞」受賞者：ノグチ・ミエコ氏（ガラスアーティスト）



夢中になり続けてきたことが、コスモポリタン文化賞の受賞となり驚きとともに、大変光栄に思っております。アーティストとしての作品のみならず10回以上続けてきたインドネシアでのイベントを通じての評価をいただき一緒にチャリティのイベントを立ち上げ支えてくれているメンバーと共に受賞させていただければ幸いです。今回の受賞は今後もっと頑張りたいという皆様の思いを受けてと感じておりますので、そのような皆様の思いも形になるように今後の活動に臨んでいきたいと思っております。

ガラスの透明で美しい素材の力を借りて作家活動をしてまいりました。作品の世界観のひとつである‘世界を俯瞰して眺めてみる’このような視点があれば人種や宗教をこえて世界はもっと楽しく共有できるのではないかと作品を制作しながら自分自身も考えさせられています。作品制作も環境も思い描かなければ形にならないものです。素晴らしい未来のイメージを作品を通じて皆様と共有していけたら嬉しいです。

◆「メモラブル賞」受賞者：スリン・ピッスワン氏（元ASEAN事務総長）〈代理〉ファディ・ピッスワン氏



ピッスワン家から奈良県及びERIAに対して心からの謝意を申し上げるとともに、他の受賞者の方に祝意をお届けいたします。

私の父もこの受賞をきっと喜んでいただいていることでしょう。父が一生をかけて、より良い世界に向けての関わりと情熱が認められたことであります。父はその仕事が終わることのないものであるとわかっていました。しかし、国際協力、より争いの少ない国際システム、リベラルな世界秩序に向けて関与することこそが、人類の威厳を守り、促進するための必要な責務としてみなしていました。私の父はアジア外交の巨人であり、私にとって彼を評価することは難しいことであると考えています。私なりの貢献方法は、父の名の下に基金を創設することです。そのことによって私的な取り組みの範囲で父が成し遂げてきたことを継続することを望んでおります。その基金は今後数年間の寄付金を調達する必要がありますが、そのプログラムは父が熱心に取り組んでいた3つの分野、すなわち東南アジア内の教育、紛争解決、そして安全保障に注力します。

父の一生の貢献を認めてくれた奈良県、ERIA、そしてスポンサーの皆様改めて感謝いたします。

【特別講義(教育プログラム)】

■概要

[奈良女子大学]

- 1 開催日時 平成31年1月11日(金) 10:40～12:10
- 2 場 所 奈良女子大学 文学系S棟 S235大教室
- 3 講 師 リチャード E.ボールドウィン氏(経済・社会科学賞受賞者)
- 4 テーマ 「ITと新たなグローバリゼーション:
グローバリゼーションの影響がこれほど異なるのはなぜか？」
- 5 受講者 約180名



[奈良県立大学]

- 1 開催日時 平成31年1月11日(金) 10:40～12:10
- 2 場 所 奈良県立大学 地域交流棟2F 中研修室
- 3 講 師 チームラボ(文化賞受賞者) 山田剛史氏
- 4 テーマ 「DIGITAL ART by teamLab」
- 5 受講者 約90名

